

7 MG パール（環境）

職員総括

今年度、MG パールセクションにおいては、新入生の新規メンバーを迎え、例年のボルネオ島の環境問題学習やアクセサリ制作のみに留まらず、外部のフリーマーケットへの積極的な出店を行い、ボルネオ島の環境問題学習にて得たことを外部の方へ説明、発信することができた。

外部イベントの出店の具体例としては、毎年出店している観桜会、戸塚まつり、善了寺キャンドルナイト等に加え、新規外部イベント出店として、9月の箱根合宿時に合宿先の近隣の川東タウンセンターマロニエ（小田原市）で開催されたフリーマーケット、12月に横浜市防災センター（横浜市）にて行われた防災カフェでのブース出店を実施した。出店によって、MG パールの活動を幅広く外部の方に認知してもらおうという面において、一定の成果を得ることができた一方、販売しているアクセサリのバリエーションや値段によって、購入いただくまでには結びつけることができなかった。

次年度の活動として、より一層ボルネオ島の環境問題学習に力を入れることに加えて、外部イベントでの子ども向けのアクセサリ制作体験会の実施や、男性向けアクセサリの新規制作等、セクションミーティングで話し合ったことやボランティアセンター活動報告会でいただいた意見、また、フリーマーケットにてお客様からいただいた要望などを実現するために検討し、ニーズに合った制作・販売活動を取り入れることを期待する。

最後に、今年度も、ボルネオ島の環境問題学習にご協力いただき、また、ボルネオ島の淡水パールを安価にてお譲りいただいた特定非営利活動法人ボルネオ保全トラスト・ジャパン（BCTJ）の皆さま、制作活動のために制作会を開催いただき、学生メンバーをご指導いただいた山下民子様、この場を借りて感謝申し上げます。
（職員 青木洋治）

学生チーフ総括

今年度も、昨年同様に東南アジアのボルネオ島の環境問題の学習や、現地産の淡水パールを使ったアクセサリの制作や販売など、多岐にわたる活動をさまざまな機関の方と協力して行うことができた。

春は、新入生や加入を希望する上級生を対象にしたアクセサリ制作体験を行い、新入部員を迎えた。そして戸塚まつりでの販売から1年の活動が始まった。この戸塚まつりでは、販売を介して他セクションの学生など学内だけでなく、戸塚周辺に住む地域の方々と交流することができた。この交流でボルネオ島の現状を伝え、関心を抱いていただき、商品を手にとってもらえた。年内最初の活動であり、新入生にとっても初めてとなる販売活動であったが、積極的に販売やボルネオ島の現状について学んだことを伝えられたため、スムーズに活動を行うことができた。そして夏には昨年と同様に、箱根で合宿を実施した。メンバー内で親睦を深められ、合宿先の近くの地域で開催しているフリーマーケットに参加し、販売活動をした。遠方での販売はセクション内で初の試みであったが、ここでも販売を介してボルネオ島の現状を伝えることができた。また、夏至、冬至付近の日程で行われたキャンドルナイトでも販売活動を実施した。同時に、動物保護に関するゼミが主催のイベントであったため、動物保護や環境問題について再度考えさせられる機会であった。そして特定非営利活動法人ボルネオ保全トラスト・ジャパン（BCTJ）主催の月例会に参加し、現地の状況について知ることができた。

以上のように、今年度は販売を中心に活動した。来年度は、活動報告会でいただいた意見を参考に、新しいことにも挑戦し、活動していきたい。
（学生メンバー 社会学部社会福祉学科）

●2017 年度「MG パール」の主な活動

日にち	内容 (参加人数)
4/5 (水)	国際ソロプチミスト 東京-弥生「観桜会」に出席・出店 (4名)
4/23 (日)	「ツルセミチャリティバザー」に出店 (1名)
4/25 (火)、5/9 (火)、 5/16 (火)	新入生説明会・体験会 (4/25: 12名、5/9: 9名、5/16: 10名)
4/26 (水)	特定非営利活動法人ボルネオ保全トラスト・ジャパン (BCTJ) 月例会に出席 (2名)
5/27 (土) ~5/28 (日)	大学祭「戸塚まつり」に出店 (10名)
6/16 (金)	「夏至キャンドルナイト@善了寺」に出店 (3名)
6/18 (日)	1 Day for Others 「オランウータンから学ぼう! ボルネオ島の環境問題」実施
8/16 (水)	白金地域の造形作家・山下民子氏との制作会 (7名)
9/23 (土・祝) ~9/24 (日)	夏合宿 (フリーマーケットに出店) (11名)
11/1 (水)	特定非営利活動法人ボルネオ保全トラスト・ジャパン (BCTJ) 定例会に出席
12/22 (金)	「冬至キャンドルナイト@善了寺」に出店 (2名)
12/23 (土)	「防災カフェまつり」(40名、職員2名) 横浜市民防災センターで横浜地域活動を中心に白金地域活動、MG パール、防災士講座受講生がブース運営を実施

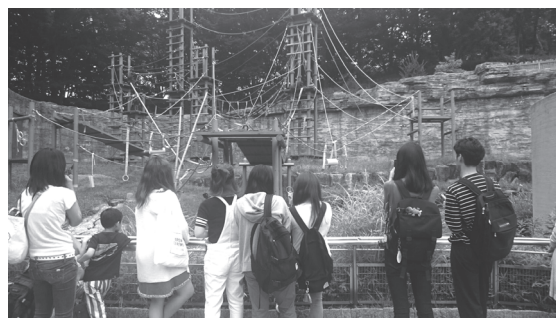
◇オランウータンから学ぼう! ボルネオ島の環境問題

目的	「1 Day for Others」のプログラムとして実施 オランウータンの生態を知る、ボルネオ島の現状を知る
場所	多摩動物公園/パルテノン多摩
活動内容	動物園見学/BCTJ 青木さんの話を聞く
活動日時	2017年6月18日(日)
参加人数	リーダー学生1名、一般学生14名

実施概要

午前中に多摩動物公園に集合した。ここでは数多くのオランウータンがのびのびと飼育されている。ボルネオ島の自然問題により被害を受けているオランウータンがどのような環境で生活しているのか、楽しみながら学ぶことができた。

その後、多摩センター駅近くの会議室に移動し、ボルネオ島の環境や生物の保全活動をしているBCTJの青木さんから、ボルネオ島がどのような場所にあるのか、今どのような問題を抱えているのか講義をしていただいた。その後、その問題のキーワードである「アブラヤシ」について、私たちにとってアブラヤシがいかに身近なものかを学ぶワークショップを実施した。



感想・活動を通して得た学び

多摩動物公園では、オランウータンがどのようにして生活を送っているのかを見ることができた。例えば長い腕を利用してロープなどを伝っていきながら遠くの場所に移動したりすることなど、実際に見なければ分からないことを知ることができた。また、以前この動物園にいたジプシーというオランウータンの話を聞き、彼女の行動によりオランウータンがとても仲間思いで優しい生き物であり、その優しさはだんだんと周りに伝播することがわかった。

また、BCTJ の青木さんの話では、人間がプランテーションを行うことでボルネオ島のもつ豊かな自然を壊していることが学べた。私たちは実際にプランテーションで働くなど直接的な関わりはないけれど、そこで生産されたパーム油を利用している点で関係しており、自分もその問題に関わっていることが知れた。

今後に向けて

今回のプログラムで改めてボルネオ島の現状などを知ることができた。BCTJ は定期的にボルネオ島に行っているので今後も BCTJ の方々から積極的に話を聞いていきたい。

また、この事実を知らず、パーム油のことを知らないままパーム油が使用された食品や製品を利用している人が多いと感じた。MG パールの活動を通して、私たちの作品に興味を持ってくれた人に対してボルネオ島の現状やパーム油のことを知ってもらえるよう広報活動を積極的に行っていきたい。

(学生メンバー 社会学部社会福祉学科)